	<i>+</i> ∓			<u>5月15日</u> )	更新 JA至辰		
	項目	内容	1		考		
	1.国産	○1月の成牛と畜頭数は、83.9千頭(前年比103.1%)と前年を上回った。	○国内生産量	の推移(単位:千頭	頭・%)		
		内訳を見ると、和牛:36.1千頭(前年比102.8%)、交雑牛:20.0千頭(同107.3%)、乳牛去勢:10.4千頭(同89.7%)となった。		和牛計	交雑牛計	乳牛去勢計	成牛計
		○ 2月の成牛と畜頭数は、速報値(2月28日まで集計)で80.7千頭と上回った(前年比104.1%)。	暦年	頭数 前年比	頭数 前年比	頭数 前年比	頭数 前年比
		○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(2月22日公表)によると、2月の出荷頭数は、全品種で増加が見込まれることから、前年同月を上回ると予測する。	R1年	457.8 101.1	236.7 94.9		1,038.6 98.8
		3月は、乳用種が減少するものの、和牛および交雑種で出荷頭数の増加が見込まれることから、前年を上回ると予測する。	R2年	477.2 104.2	227.8 96.2		1,047.1 100.8
		(2月83.5千頭(前年比107.3%)、3月93.8千頭(前年比103.3%))	R3年	483.1 101.2	228.9 100.5		1,054.6 100.7
		そのため、3か月平均(1月~3月)でも、出荷頭数86.9千頭(前年比104.1%)、生産量27.6千½(同104.9%)と前年を上回る予測となっている。	R4年	490.2 101.5	248.6 108.6		1,083.1 103.0
	2.輸入	○ 1月の輸入通関実績は、全体で39.9千%と下回り(前年比98.8%、前月比106.6%)、内訳ではチルド;16.1千トン(前年比98.4%、前月比104.0%)、	R4年 10月	40.5 99.8	21.8 109.2	10.7 84.1	91.8 101.5
什	△・押削ノ∖	フローズン:23.8千 <sup>ト</sup> 」(前年比99.0%、前月比108.4%)となった。輸入相手国別では、チルドはニュージーランドを除き減少したため下回った。	R4年 10月 R4年 11月	53.9 102.3	25.1 109.2	12.1 91.4	111.1 104.4
給		一方でフローズンは、米国からのショートプレートは依然堅調だが、その他の国からの輸入が減少したため下回った。				11.2 90.1	<del></del>
""			R4年 12月	46.9 99.1	23.0 107.8		
		(参考:形態別相手国別輸入数量)	R5年 1月	36.1 102.8	20.0 107.3	10.4 89.7	83.9 103.1
		チルド :米国8.6千、(前年比99.5%)、豪州5.5千、(同94.9%)、ニュージーランド0.7千、(同143.5%)、カナダ0.7千、(同85.3%)、メキシコ0.2千、(同68.9%)		乳牛雌やその他品		め数字が一致した	(1)
		フローズン:豪州9.7千~(同93.7%)、米国7.8千~(同119.4%)、カナダ2.9千~(同118.4%)、ニュージーランド1.6千~(同81.3%)、メキシコ1.0千~(同88.6%)		移(単位:千り, %	ī		
		○ (独)農畜産業振興機構の需給予測によると、チルドの輸入量は、国内需要の低下や現地価格の高騰等の影響から、2月、3月ともに下回ると見込んでいる。フローズンも同様の影響により、	暦年	輸入数量合計		フローズン数量	
		下回る見込みだが、3月は豪州産の生産量回復により上回ると見込んでいる。3か月平均では、チルドは大きく、フローズンわずかに前年同期を下回ると見込んでいる。		数量 前年比	数量 前年比	数量 前年比	*財務省:
		令和5年2月 合計;35.2千、(前年比93.2%)、チルド;14.3千、(同87.2%)、フローズン;20.9千、(同97.9%)	R1年	615 101.3	275 98.6	340 103.6	通関実績
		令和5年3月 合計;32.8千、(前年比96.7%)、チルド;15.1千、(同89.6%)、フローズン;17.7千、(同104.0%)	R2年	600 97.6	262 95.1	339 99.5	
		直近3か月(1月~3月)平均 合計;35.8千、(前年比95.7%)、チルド;15.1千、(同91.4%)、フローズン;20.7千、(同99.3%)	R3年	585 97.4	264 100.9	321 94.7	
	1.家計消費	〇 総務省発表の1月度家計調査報告によると、全国二人以上の1世帯当たり牛肉購入量は491g(前年比90.3%)、支出金額が1,783円(同101.1%)となり、	R4年	560 95.4	217 83.0	343 104.3	
	2.小売動向 1月概況	購入量は前年を下回ったが、支出金額は前年並みだった。(※2019年度同月比:購入量 89.6%、金額 98.5%)	R4年 9月	51.9 102.7	17.0 69.7	35.0 133.5	
		○ 日本スーパーマーケット協会など食品関連スーパー3団体の1月の販売統計速報によると、畜産部門の売上高は1,187億円(前年比103.4%、既存店ベース101.7%)と前年を上回った。	R4年 10月	48.6 88.1	14.6 71.0	34.1 98.2	
		相場の高騰が続き、買上点数の伸び悩みは続いている。豚肉や鶏肉等の鍋物商材の動きは良かった。牛肉は国産の動きが良いが、豚肉は国産の高騰により輸入品の動きが良かった。	R4年 11月	39.4 92.5	17.6 107.2	21.8 83.2	
		加工品は値上げの影響から伸び悩んだ店舗が多く見られた。また、店舗によっては、価格訴求出来ず販売に苦心しており、売上高は確保したものの利益を圧迫しているとの声もある。	R4年 12月	37.4 81.9	15.5 74.3	22.0 88.3	
		〇 日本チェーンストア協会が公表した1月販売概況によると、畜産品の売上は961.2億円(店舗調整後で前年比101.2%)となり、前年を上回った。	R5年 1月	39.9 98.8	16.1 98.4	23.8 99.0	
需	2 <i>b</i> l 🕰	牛肉、豚肉、鶏肉、ハム・ソーセージは、まずまずの動きとなった。鶏卵の動きは、良かったと報告されている。 ○ 日本フードサービス協会がまとめた外食産業市場調査1月度結果報告によると、営業制限が無く年始需要が好調だったため、全体売上は前年比115.3%、2019年比では104.2%と	○ ※ ※ ※ ☆ ※	払冰弗.具./ がぅ	0/)	○松川見の₩1	皎(畄片 0/)
要	3.外食 1月概況	〇 日本ノートサービス協会かまどめに外食産業市場調査1月度結果報告によると、宮業制限が無く年始需要が好調につにため、全体元上は削年比115.3%、2019年比では104.2%と コロナ前を上回った。ただし、客数は2019年比で9割程度と推定されるため、売上増は原料高と光熱費高騰等に起因する値上げの影響であり、経営は変わらず厳しい状況にある。	○総務省:家記 暦年	計消費量(፫୭,円 <u>,</u> 全国1世		: 1	移(単位: ドジ、%)
	1月 燃况	コロナ前を上回つた。ただし、各数は2019年にで9割程度と推定されるため、元上増は原料局と元熱負債騰寺に起因する値上げの影響であり、経営は変わらす敵しい状况にある。 業態別;①ファーストフード 前年比110.2%、2019年度比117.9% テイクアウト・デリバリーは引き続き堅調。限定メニュー等の販売や商業施設立地店舗の集客が回復し好調。	一		エ帝ヨリ 金額 前年比	チルド フローズン 数量 数量	合計 前年比
		(2)ファミリーレストラン 前年比119.6%、2019年度比117.5% 年始の家族客が増加、テイクアウトの対応強化により、売上は好調。焼肉店は、郊外店舗が引き続き好調。	R1年		立領 <u></u> 削午	<u> </u>	4,339 121.9
		③ディナーレストラン 前年比119.0%、2019年度比 90.3% 個人客は引き続き好調。全国旅行支援やインバウンドの増加で需要が回復傾向。法人宴会や夜間の集客は戻らず。	R2年	•	23,677 111.8	2,341 2,503	
		④ 居酒屋 前年比150.9%、2019年度比 54.1% 売上回復に頭打ち感が出ている。企業・団体等の宴会自粛傾向は継続しており、復調が難しい状況。	R3年	6,748 93.7			
	4.輸出	○ 1月の輸出実績は431.1t (前年比93.5%)と前年を下回った。アラブ首長国連邦向けが前年比約1,200% (約16t)、米国向けが同約210% (約176t)と大きく増加したものの、	R4年		22,355 96.3	-	7,454 94.6
	1,1,7,7	カンボジア向けが前年比約2割まで大きく落ち込んだ(約12t)こと等が影響し、下回った。	R4年 10月		1,779 101.1	376.4 454.8	831.2 128.5
	1.在庫	○ (独)農畜産業振興機構の需給予測によると、1月末の推定期末在庫量は155.2千 <sup>ト</sup> 」(前年比115.4%、前月比99.7%)と前年を上回った。	R4年 11月	456 92.9	1,731 103.0	346.0 341.6	687.6 85.9
在		内訳は、輸入品;143.3千/。(前年比118.1%、前月比100.3%)、国産品;12.0千/。(同90.5%、同94.5%)となり、輸入品は前年実績を上回ったが、国産品は下回った。	R4年 12月	652 90.3	3,084 103.4	392.7 485.3	878.1 93.3
熚		なお、今後の期末在庫の推移は、2月末;156.7千~(同117.4%)、3月末;150.2千~(同117.5%)と、前年を上回って推移すると見込まれている。	R5年 1月	491 90.3	1,783 100.1	205.8 225.4	431.1 93.5
	1.R5年2月						
		乳牛去勢B2が939円(同94.4%)であった。	○市況の推移	: 東京市場(税込			
		○2月の相場は、肉の日イベントや量販店の決算セールなどで特売需要があったものの、消費者の生活防衛意識が一層高まり牛肉の消費が減少傾向となったことで、	暦年	和牛去勢A-5		-	
		和牛・交雑牛ともに前年・前月ともに下回った。乳牛去勢牛は、輸入代替需要が底堅いものの供給が限定的であるため、前月は上回ったが前年は下回った。			価格 前年比		
		○3月の相場は、月前半は情勢に大きな変化がないため、2月に引き続き弱含みな展開が予想されるが、月後半からはマスク緩和により謝恩会・歓送迎会等の宴会需要の回復			2,408 97.4		1,016 97.8
肉	予測	期待が持てること、GW需要を見据えた手当てが始まることなどから、需要の増加が見込まれるため、月平均では強含みに推移するものと思われる。	R2年	-	2,103 87.3		
相		一方で、乳牛去勢牛は、ホテル等での引き合いや輸入代替需要が底堅いため、保ち合いから強含みを見込む。	R3年	•	2,427 115.4	1,554 111.1	1,004 108.6
場		◎ 技肉相場予想:東京市場【税込】    1月実績    2月速報値    3月予測    4月予測    4月予測    3月予測    4月予測    4月予測    1月実績    2月速報値    3月予測    4月予測    4月予測    1月実績    2月速報値    3月予測    4月予測    1月実績    1月実績    2月速報値    3月予測    4月予測    1月実績    2月速報値    3月予測    4月予測    1月実績    1月実績    2月速報値    3月予測    4月予測    1月実績    1月まままままままままままままままままままままままままままままままままま	R4年	2,607 96.8	2,348 96.9	1,523 98.1	1,042 102.4
		·和牛去勢「A-5」: 2,553円 (97.7%) 2,534円 (99.9%) 2,600円 (98.3%) 2,600円 (96.7%)	R4年10月	2,649 98.8	2,340 100.8	1,521 106.0	1,041 101.9
		·和牛去勢「A-4」: 2,291円 (97.7%) 2,205円 (97.4%) 2,300円 (95.7%) 2,300円 (92.9%)	R4年11月	2,649 97.6	2,377 96.4	1,506 103.6	1,115 108.0
		·交雑去勢「B-3」: 1,468円(100.1%) 1,385円(97.2%) 1,450円(94.8%) 1,450円(90.7%)	R4年12月	2,688 95.0	2,399 93.1		1,029 94.9
ورمل	1 DE # 0 F	•乳牛去勢「B-2」: 922円 (90.0%) 939円 (94.4%) 950円 (89.4%) 950円 (84.0%)	R5年1月		2,291 97.7		922 90.0
	1.R5年 2月	<ul><li>◎ 首都圏仲間価格【税抜】 【和牛:4等級】 【ホルス:2等級】 【交雑牛:3等級】</li><li>□ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</li></ul>	R5年2速報値		2,205 97.4	1,385 97.2	939 94.4
分肉	予測	•和牛カタセット(スネなし) : 3,150円 ・ホルスカタセット(同) : 1,900円 ・交雑牛カタセット(同) : 2,200円 •和牛ロースセット(ヒレなし): 6,600円 ・ホルスロースセット(同): 3,150円 ・交雑牛ロースセット(同): 4,400円	農水省食肉流		生子で東京士坦の	亚特林内在4/1	
相		・和牛ロースセット(ことない): 6,600円 ・ホルスロースセット(同): 5,400円 ・交雑牛エモセット(同): 4,400円   ・和牛モモセット(スネなし): 3,800円 ・ホルスモモセット(同): 2,000円 ・交雑牛モモセット(同): 2,350円	(迷報順は展苗	産業振興機構が公	衣りる果尽円場の	干均仗肉恤格)	
場		・和牛モモビット(内): 3,000円 ・ホルスモモビット(内): 2,000円 ・交雑牛モモビット(内): 2,300円   ・和牛トモバラ : 1,180円 ・交雑牛トモバラ : 1,400円	1				
	<u>.                                    </u>	「日日日日 / 「日子1400日					